ふとんの手入れ方法

JBAのふとん品質表示規程では、ふとんの種類ごとに4つの項目について表示内容を規定している。

①使い方と注意
②干し方　　干す時間帯＝午前10時～午後3時頃
③収納と保管の仕方
④洗い方

＊ウォッシャブルの羊毛ふとん、羽毛ふとんは、洗濯水30℃以下、洗剤は中性洗剤を使用。

ふとんの種類ごとの買い替えの目安

ふとんの種類	一般的な買い替えの目安	その他の目安
綿ふとん	掛けふとん⇒約5年 敷きふとん⇒約3年 ただし、打ち直しの再生が可能	ふとん生地の汚れがひどいときや、詰めものが極端に片寄ってしまったときなどは、打ち直し、リフォーム、丸洗い又は買い替えをお勧めします。
合繊ふとん	掛けふとん、敷きふとん⇒約5年	
羊毛ふとん	掛けふとん⇒約5年 敷きふとん⇒約3年	
羽毛(羽根)ふとん	掛けふとん⇒5年に1度は傷み 具合を点検し、必要 ならばリフォーム	
真綿ふとん	掛けふとん⇒約5年	

(一社)日本寝具寝装品協会

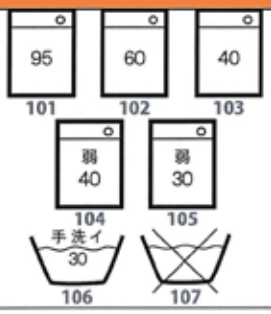
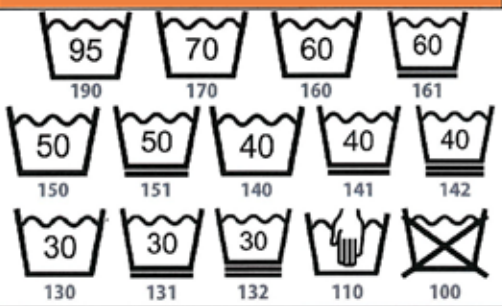
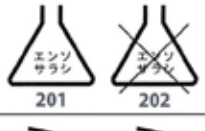
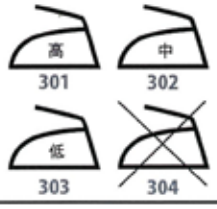
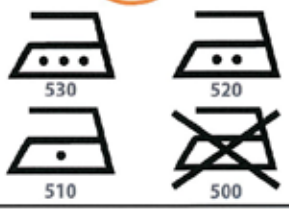
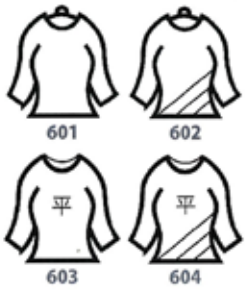
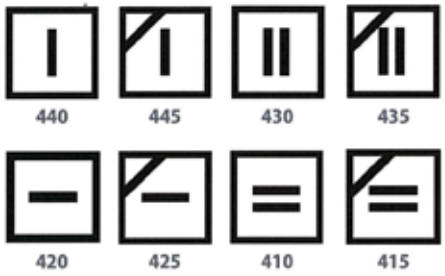
(一社)日本寝具寝装品協会では、消費者の方にふとんを快適に使用していただくため「ふとんの買い替えの目安」を定めている。

【機能の劣化の面から】
ふとんは使用や保管により、ダウンのファイバー化も進みふとんのかさ高の低下が起こる。 ⇒　保温性の低下

【衛生上の面から】
ふとんの使用期間が長くなると、汗などの不純物が、ふとん側生地や詰めものに付着する。 ⇒　臭いやカビ発生の原因になる。衛生上対策が必要。

旧JIS L0217と新JIS L0001との比較

新JIS表示＝2016年12月1日施行

	JISL0217	JISL0001	変更内容
洗い方			7図柄→14図柄に拡大 ・洗濯機が桶の図柄に変更されています。 ・ヨコ棒1本は、弱い操作を、ヨコ棒2本は、非常に弱い操作を示しています。
漂白			・酸素系漂白図柄（中央）が追加されています。
アイロン			・ドットの数により、アイロン温度を示しています。 ●●● は、上限温度200℃ ●● は、上限温度150℃ ● は、上限温度110℃
商業ドライクリーニング			3図柄→5図柄に拡大 ・「P」はパークロロエチレン及び石油系溶剤を、「F」は石油系溶剤を使用した処理が可能です。 ・ヨコ棒1本は、弱い操作を示しています。
絞り方		削除されました	
自然乾燥（干し方）			4図柄→8図柄に拡大 ・タテ棒は、吊り干しです。2本の場合は、吊りの濡れ干しを示しています。 ・ヨコ棒は、平干しです。2本の場合は、平の濡れ干しを示しています。 ・斜線は、陰干しを示しています。

図柄に追加された項目

タンブル乾燥	—		・ドットの数により、乾燥機の排気温度を示しています。 ●● は、80℃ ● は、60℃
ウエットクリーニング	—		・業者によるウエットクリーニング処理が可能です。 ・ヨコ棒1本は、弱い操作を、ヨコ棒2本は、非常に弱い操作を示しています。